



1・2_第48回全国育樹祭には秋篠宮皇嗣同妃両殿下にご臨席いただきました。3_「しろいし城中の宴」には、白石市アンバサダーの森川智之さん、佐藤三兄弟も駆けつけてくれました！
4_白石城を映像と音楽で彩ったプロジェクションマッピング

令和8年度 施政方針



2月13日、山田裕一市長が第475回白石市議会定例会で施政方針演説を行い、令和8年度の市政運営の基本的な考え方や主要な施策などについて、表明しました。今月号では、その内容と本年度の主立った事業をお知らせします。

▲(仮称)道の駅しろいし整備事業完成予想図

再発防止の取り組み

はじめに、昨年2月に本市の職員が逮捕され、その後有罪が確定し当該職員を懲戒免職処分とした官製談合防止法違反事件について、市民の皆さんに改めて深くお詫び申し上げます。

市では、全職員を対象とする研修を開催して職員のコンプライアンス意識の徹底を図るとともに、官製談合の再発防止策に関する基本方針に沿って、指名競争入札を原則廃止するなどの入札・契約事務の見直しを進めております。

二度とこのような事件が発生しないよう、意識・制度・職場環境、あらゆる面で、不正を起こさない・起こさせないための改革を進め、皆さまの信頼を取り戻せるように努めてまいります。

節目の行事を皆さんと共に

さて、昨年10月に開催された「第48回全国育樹祭」において、秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えしての「お手入れ行事」を、本市の南蔵王野営場で開催することができましたことは、本市にとって大変名誉なことであり、ご協力いただいた全ての方々に厚く御礼申し上げます。

また、本市のシンボルである白石城が、復元から30周年という節目を迎え、さまざまな記念事業を実施しました。特に「しろいし城中の宴」では、白石城を映像と音楽で彩るプロジェクションマッピングを開催するなど、昼も夜も楽しめる記念イベントを開催し、市内外から多くの皆さんが訪れ、「白石城開門30周年」をお祝いすることができたことを大変うれしく思っています。

人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろいしへ！

近年、地方都市は、急激な人口減少と少子高齢化、激甚化する自然災害、新型感染症の感染拡大、原材料価格の高騰など、これまで経験したことがないような新たな課題に直面しており、特に、現在も続く物価高騰は、賃金の伸びがそれに追いついていないことで、市民生活に深刻な影響を及ぼしています。

これに対し、市は、エネルギー・食料品などの物価高騰対策として、低所得世帯を支援する「物価高騰対策給付金給付事業」や消費を下支えする「割増商品券事業」をはじめ、学校給食費の値上がり分を補助する「学校給食費補助事業」を実施してまいりました。

令和8年度も、市民の安全・安心な生活を守るために必要な施策を、可能な限り迅速に実行してまいります。

また、これまでに引き続き、子

育て支援に重点を置いた施策を強力に推進します。特に、子育て世代が安心して働きながら子育てできる環境を整えるため、令和8年4月から、公立、私立、認可施設か否かを問わず、保育料を第1子から完全無償化するとともに、小学校の学校給食費を完全無償化します。

これらは、白石市の次世代を担う子どもたちの未来に対する投資でもあり、本市は引き続き、子どもたちと子育て世代を全力で応援してまいります。

将来を見通せない時代にあつて、社会はより複雑化し、市民の皆さんのニーズも多様化しておりますが、誰もが安心して暮らすことができる、将来にわたって持続可能な「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいし」を実現するため、実効性の高い施策を推し進めてまいります。

※施政方針の全文は市公式ホームページに掲載しています。